

雪嶺集

〈宮坂静生 鑑〉



板の間

小林貴子

啄木の忌や板の間のざらざらす
中腰となられ皇族植樹祭
吊し雛宙を満たして息苦し
東風吹くや助け出さるるおびんづる
野馬^{かげろふ}や松尾芭蕉のうしろ影
雛祭最も高き峰より瞰
預つて置くと断る湘子の忌
昭和の日サラダの中のハムが好き
触るるもの緑に変はるみどりの夜
逝く人に白詰艸の冠を

齋藤慎爾さん